Clarion

取扱説明書

DB265
DB265S

CDセンターユニット

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目　次

はじめに

主な特長 **3**
ご使用の前に **4**
安全に正しくお使いいただくために 4
安全上のご注意 5
取扱上のご注意 **6**
ご確認事項 6
本体のお手入れについて 6
液晶画面について 7
エラー表示について 7
CDの演奏について 7
CDについて 7

本機の操作

■各部の名称とはたらき 本体部 8
■基本の操作 DCPの取り外しかた 10
DCPの取り付けかた 10
電源を入れる 11
再生するソースを選ぶ 11
音量を調節する 11
時計表示に切り換える 11
時刻を合わせる 12
音質を簡単に設定する(Zエンハンサー機能) 12
オーディオモードを調整する(BASS,TREB,BAL,FAD) 13
重低音を増強する(マグナベースEX機能) 13
スクリーンセーバーを設定する 13
■ラジオを聴く ラジオを選ぶ 14
受信バンドを切り換える 14
手動選局する(マニュアル選局) 14
プリセット選局する 14
自動選局する(シーク選局) 14
プリセットメモリーする 14
自動メモリーする(オートストア機能) 15
放送局を確かめる(プリセットスキャン) 15
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能) 15
■CDを聴く CDを入れる/取り出す 16
すでに入っているCDを聴く 16
演奏を止める(一時停止) 16
次の曲/前の曲を選ぶ 17
早送り/早戻しする 17
最初の曲から聴く(トップ機能) 17
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏) 17

その他

故障かな？と思われたら **18**
エラー表示について 18
仕　様 **19**
アフターサービスについて ..... **裏表紙**

主な特長

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

■ 高出力45W×4ch内蔵アンプ

■ DCP(Detachable Control Panel)機構のフロントパネル
- 高級感あふれるフロントパネルにDCP機構を採用

■ CD-R/RWで記録されたディスクを再生

■ 音質重視のデジタルサウンド
- 8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルターとデュアル1ビットDACにより、クリアなデジタルサウンド

■ Z-エンハンサー機能
- 3種類の音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定

■ マグナ・ベース EX
- 超低音域をブーストし再生する、新ラウドネス機能

■ ラジオ部
- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー
- メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

■ CDデッキ部
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能

■ ディマー機能
- 視認性を考慮して、夜間はLCD照明を減光

■ パワーアンテナにも対応

■2chRCA出力端子付
- 外部アンプを接続して、システム拡張

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注 意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠警 告

●運転者は走行中に操作をしない…

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

●ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…

火災や感電の原因となります。

⚠警 告

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

取扱上のご注意

⚠注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない…

感電やけがの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする…

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

●音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…

火災の原因となることがあります。

●本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

●COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのついたCDをご使用ください。
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

●CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

液晶画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、センターユニットの取扱説明書「**エラー表示について**」(18ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDの演奏について

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

●本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

CDについて

■取扱上のご注意

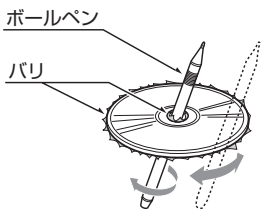
●CD-R/CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高音多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間放置しないようにしてください。

●レーベル面(印刷面)に文字などを記入しないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。

●新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



●CDの中には中心の穴が変形している不良品もあります。変形していないか確認のうえご使用ください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部

リリースボタン
- DCPを取り外すときに使用します。

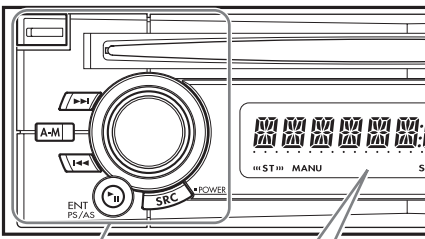
サーチ(I◀◀, ▶▶I)ボタン
- ラジオ時は選局、CDを聴くときには、選曲します。
- 各種設定(アジャスト)時にも使用します。

[A-M]ボタン
- 音質やバランス、フェダーの調整モードに切り換えます。

[VOLUME]ノブ
- 時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- 音質/バランス/フェダーの調整に使います。
- 各種設定(アジャスト)時にも使用します。

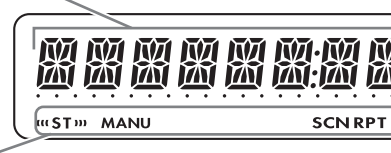
プレイ/ポーズ(▶II)ボタン
- CD時に、演奏/一時停止します。
- ラジオ時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

POWER
[SRC]ボタン
- 電源を入れ、押し続ける(約1秒間)と電源が切れます。
- ラジオとCDを切り換えます。



ディスプレイ部

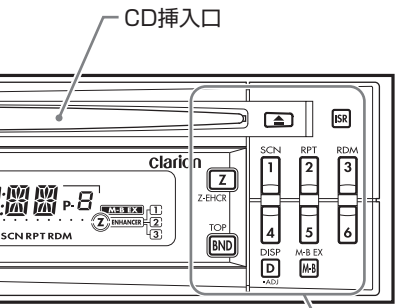
表示例
FM1 83.00 : 受信バンドと周波数
T01 00:01 : CD演奏トラックと時間
AM 10:20 : 時計表示

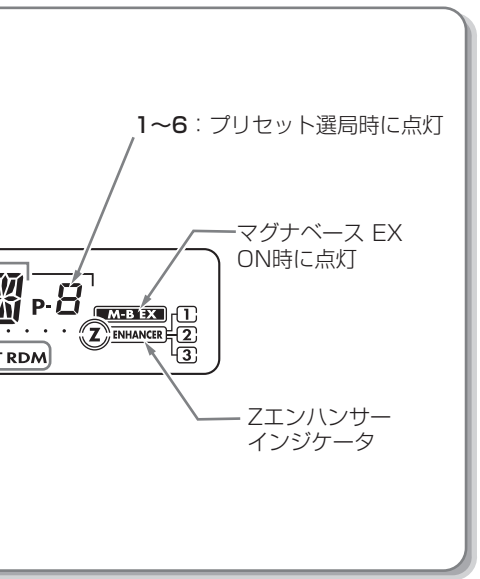


ST : ステレオ放送受信時に点灯
MANU : 手動選局モード時に点灯
SCN : スキャン演奏時に点灯
RPT : リピート演奏時に点灯
RDM : ランダム演奏時に点灯

■商品イラストについて

本書における商品イラストは、簡素化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。





イジェクト(⏏)ボタン
- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

[ISR]ボタン
- 再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼び出します。（ISR機能）

[Z]ボタン
- 音質を3段階に切り換えます。

ダイレクト(1〜6)ボタン
- ラジオ時に、放送局のメモリーや、直接呼び出しをします。

[SCN]ボタン
- CD時に、10秒間ずつスキャン演奏します。

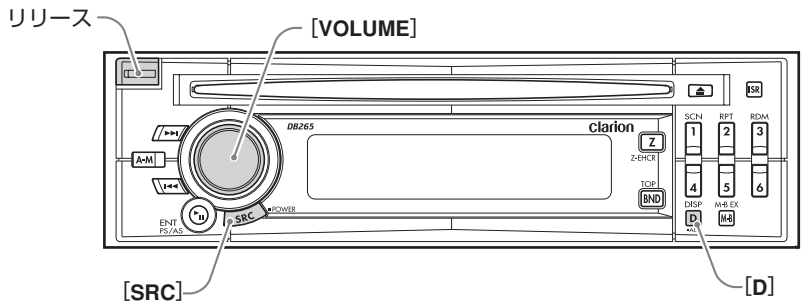
[RPT]ボタン
- CD時に、繰り返し演奏します。

[RDM]ボタン
- CD時に、ランダム演奏をします。

[BND]ボタン
- CD時に、最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- ラジオ時は、バンドの切り換えを行います。また、押し続けると自動/手動選局を切り換えます。

[D]ボタン
- 押して周波数表示または演奏状態表示を時計表示に切り換えます。
- 押し続ける（約1秒間）と、時計設定、スクリーンセーバー機能を設定するアジャストモードになります。

[M-B]ボタン
- 押すと、マグナベースEXがON/OFFします。



DCPの取り外しかた

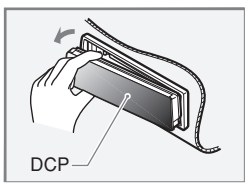
DCP(Detachable control panel)について…
このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。

1 [SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

2 リリースボタンを深く押す

→DCPの左端が本体から外れます。

3 DCPを手前に取り外す

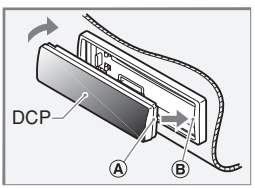


⚠注 意

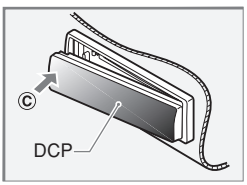
- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。

DCPの取り付けかた

1 DCPの右側のⒶ部を、本機のツメⒷ部に差し込む



2 DCPの左端Ⓒ部を、カチッと音がするまで押す



⚠注 意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電源を入れる

⚠警 告

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。また、走行中にピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしないでください。

1 エンジンをかける(ACCまたはエンジンONの位置にする)

→時計表示になります。

- 時刻の設定は、「**時刻を合わせる**」(12ページ)をご覧ください。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。

2 [SRC]ボタンを押す

→電源が入り、前回電源を切ったときのソースで始まります。

■電源を切るには…

[SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

→電源が切れ、時計表示になります。

ご注意

音量が大きいときは、小さくしてから電源を切ってください。

再生するソースを選ぶ

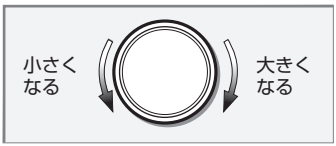
1 [SRC]ボタンを押す

→[**SRC**]ボタンを押すたびに、ラジオとCDを切り換えます。

- CDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示します。

音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



→ディスプレイに調整音量値(「***VOLUME: 15***」等)を表示します。

- 音量調整範囲は、0～33です。

⚠注 意

運転中は車外の音が聴こえる程度の音量にしてください。

時計表示に切り換える

■常に時計を表示させるには…

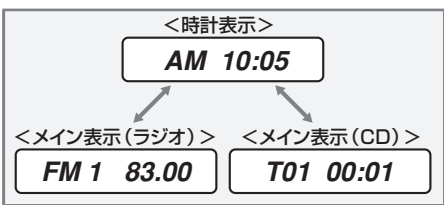
「スクリーンセーバーを設定する」(13ページ)をご覧になり、スクリーンセーバー機能を「**SS OFF**」に設定し、以下の手順で時計表示に切り換えてください。

1 [D]ボタンを押す

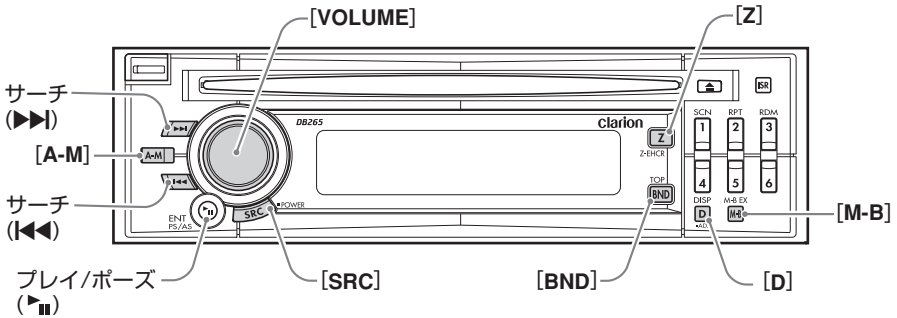
→押すたびに、次のように切り換わります。

メイン表示 → 時計表示

●時計表示の場合



- 時計表示のときは、ラジオの選局やCDの選曲等のボタン操作時に、受信周波数やトラックNo.等を表示した後、元の時計表示に戻ります。



時刻を合わせる

車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 [D]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→「***SCRN SVR***」を表示して、設定変更(アジャスト)モードになります。

2 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、「***CLOCK<E>***」を選ぶ

3 プレイ/ポーズ([▶II])ボタンを押す

→調整時点(「**AM 10:16**」等)の時刻を表示して、時刻設定モードになります。

4 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、時または分を選ぶ

- 点滅している項目が調整できます。

5 [VOLUME]ノブを回して、時刻を合わせる

6 プレイ/ポーズ([▶II])ボタンを押す

ご注意

- 電源がOFFの状態では、時計表示になっていても時刻調整をすることはできません。
- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。
- 点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう一度時刻合わせをしてください。

7 [D]ボタンを押して、元のソースに戻る

音質を簡単に設定する(Zエンハンサー機能)

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。
※初期設定は「**OFF**」です。

1 [Z]ボタンを押す

→Zエンハンサーインジケータが点灯します。

2 [Z]ボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

→[Z]ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

Z-エンハンサー1(低音域を補正)
↓
Z-エンハンサー2(高音域を補正)
↓
Z-エンハンサー3(低音域と高音域を補正)
↓
Z-エンハンサーOFF
↑

オーディオモードを調整する (BASS、TREB、 BAL、FAD)

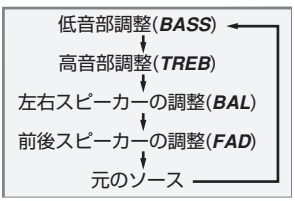
• Z-エンハンサー機能がOFFのときに調整できます。
※初期設定は、「**0**」です。

ご注意

オーディオモードを選択した後、約7秒間操作をしなかったときは、オーディオモードを解除して元に戻ります。

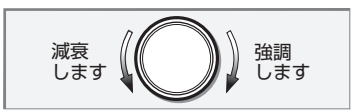
1 [**A-M**]ボタンを押して、調整項目を選ぶ

→ディスプレイに調整項目を表示します。[**A-M**]ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



2 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

■低音(BASS)/高音(TREB)の調整



• 調整範囲は、−7〜+7です。

■左右のスピーカー音量(BAL)の調整



• 調整範囲は、L13〜R13です。

■前後のスピーカー音量(FAD)の調整



• 調整範囲は、F12〜R12です。

3 [**A-M**]ボタンを押して、元のソースに戻る

重低音を増強する (マグナベースEX機能)

1 [**M-B**]ボタンを押す

→マグナ・ベースEX(MAGNA BASS EX)がONになり、重低音が増強されます。

■マグナベースEX機能を解除するには…
もう一度、[**M-B**]ボタンを押してください。

スクリーンセーバーを設定する

※初期設定は「***SS ON***」です。ディスプレイに演奏状態を常に表示させておきたい場合は、「***SS OFF***」に設定してください。

1 [**D**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→「***SCRN SVR***」を表示して、設定変更(アジャスト)モードになります。

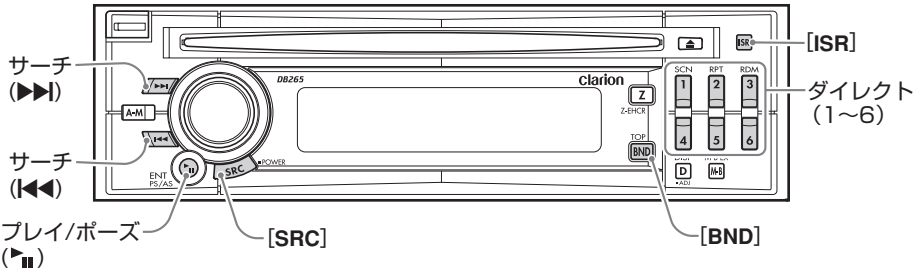
2 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、「***SCRN SVR***」を選ぶ

3 [**VOLUME**]ノブを回して、「***SS ON***」または「***SS OFF***」を選ぶ

- ***SS ON*** ：スクリーンセーバー機能がONになります。
  演奏等の状態表示で30秒間何も操作しないと、スクリーンセーバー表示になります。
- ***SS OFF*** ：スクリーンセーバー機能がOFFになります。

4 [**D**]ボタンを押して、元のソースに戻る

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→受信バンドと受信周波数（「***FM1　83.00***」等）を表示して、ラジオになります。
[**SRC**]ボタンを押すたびに、ラジオとCDを切り換えます。

受信バンドを切り換える

1 [**BND**]ボタンを押して、**FM1**、**FM2**または**AM1**、**AM2**を選ぶ

→[**BND**]ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2

手動選局する(マニュアル選局)

1 「**MANU**」が消灯しているときは、[**BND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→「***MANU***」が点灯すると、手動選局です。

2 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局します。

1 ダイレクト(1〜6)ボタンを押す

- ダイレクトボタンにメモリーするときは、「プリセットメモリーする」をご覧ください。

自動選局する(シーク選局)

1 「**MANU**」が点灯しているときは、[**BND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→「**MANU**」が消灯しているときは、自動選局です。

2 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各バンドごとに6局ずつ、計24局です。

1 [**BND**]ボタンを押して、メモリーさせたいバンド(**FM1**、**FM2**または**AM1**、**AM2**)を選ぶ

2 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたいダイレクト(1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→受信している放送局がダイレクトボタンにメモリーされます。

自動メモリーする(オートストア機能)

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 [**BND**]ボタンを押して、メモリーさせたいバンド(**FM1**、**FM2**または**AM1**、**AM2**)を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクト(1～6)ボタンにメモリーされます。

ご注意

- 自動メモリーすると、これまでのメモリー内容は消去されます。
- 自動メモリーは、プリセット6局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンには、それまでのメモリーが残ります。
- すでにメモリーしている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送局を確かめる(プリセットスキャン)

1 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→プリセットメモリーされた放送局を、順に受信します。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押してください。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [**ISR**]ボタンを押す

→ディスプレイに「***ISR 1620***」を表示します。

■ 元のソースに戻すには…

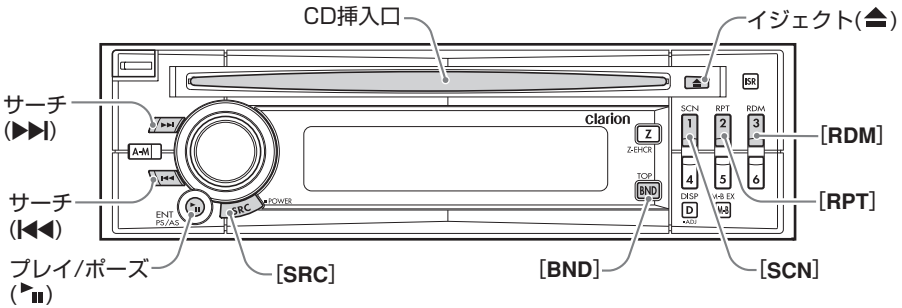
もう一度、[**ISR**]ボタンまたは[**SRC**]ボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

メモリーしたい放送局を選局し、[**ISR**]ボタンを押し続け(約2秒間)てください。

→ISRにメモリーされます。

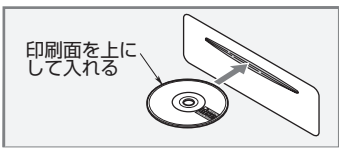
CDを聴く



CDを入れる/取り出す

1 CD挿入口にCDを入れる

シングルCDのときは、CD挿入口の中央へ入れる(アダプター不要)



→「***T01 00:00***」を表示し,自動的に演奏を始めます。

⚠注 意

CD挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。

ご注意

- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は COMPACT disc DIGITAL AUDIO マーク表示のあるコンパクトディスク以外はご使用になれません。
- CD-R/RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

■CDを取り出すには…

イジェクト(⏏)ボタンを押してください。

→CDがイジェクトされます。

ご注意

- CDをイジェクトしたままにしておくと、15秒後に本機内に引き込まれます(オートリロード)。
- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、CDにキズがつく恐れがあります。
- シングルCDはオートリロードされません。イジェクトした場合は、シングルCDを取り出してください。

すでに入っているCDを聴く

1 **[SRC]**ボタンを押して、CDを選ぶ

→CDになると、トラックNo.(「***T01 00:00***」等)を表示し、自動的にCDの演奏をはじめます。

- **[SRC]**ボタンを押すたびに、ラジオとCDを切り換えます。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→「***PAUSE***」を表示して、一時停止します。

■演奏を再開するには…

もう一度、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押してください。

次の曲/前の曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチ(▶▶|)ボタンを押す

前の曲を聴くときは、サーチ(▶▶|)ボタンを2回押す

→▶▶|を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

|◀◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの|◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときはサーチ(▶▶|)ボタンを押し続ける

早戻しするときはサーチ(|◀◀)ボタンを押し続ける

→1秒以上押すと5倍速で、3秒後には30倍速で、演奏曲を早送りまたは早戻しします。

最初の曲から聴く(トップ機能)

1 [**BND**]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏します。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 曲を探す(スキャン演奏)

CDに収録されている全曲を10秒間ずつ演奏します。

1 [**SCN**]ボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏します。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲から始まります。

■ 曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 [**RPT**]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏します。

■ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

CDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 [**RDM**]ボタンを押す

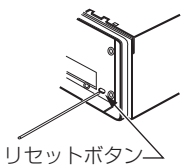
→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏します。

■演奏をキャンセルするには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

故障かな？と思われたら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない（音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたものと同じ容量のヒューズ（15A）と交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	取付説明書をもう一度お読みになって、正しい配線にしてください。
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
	CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。  リセットボタン

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

エラー表示	原　因	対処方法
ER 2	本機のCDデッキ内のCDが引っかかってイジェクトされないとき	引っかかる要素を取り除いてください。CDがイジェクトされない場合は、機器の故障と思われますので、お買い求め販売店にご相談ください。
ER 3	本機のCDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないCDと交換してください。

※上記対処を行っても復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■ CDプレーヤー部

周波数特性　：10Hz～20kHz±1dB
SN比　　：100dB(1kHz) IHF-A
ダイナミックレンジ：93dB(1kHz)
高調波ひずみ率：0.03%

■ FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　　：11dBf
50dBクワイティング感度：17dBf
SN比　　：70dB
周波数特性　：30Hz～15kHz±3dB
分離度　　：35dB(1kHz)

■ AMチューナー部

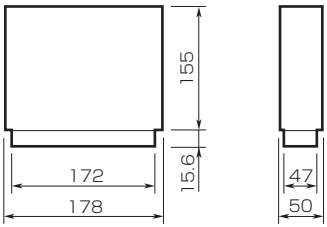
受信周波数　：522kHz～1,629kHz
実用感度　　：28μV

■ オーディオ部

定格出力　　：14W×4(20Hz～20kHz、1%、4Ω)
最大出力　　：45W×4
トーンコントロール
　BASS　：±14dB(100Hz)
　TREBLE　：±14dB(10kHz)
適合スピーカー
　インピーダンス：4Ω(4～8Ω)

■ 共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：3A　1W時
ヒューズ定格：15A
質　　量　：1.11kg
外形寸法　：178(W)×50(H)×170. 6(D)mm
　[取付寸法：155(D)mm]



■ 付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- サラネジ( ) 4本
- セムス六角ボルト( ) 5本

※これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

なお弊社サービスセンターから代替品(リンク品)を直接取り寄せる『ダイレクトエクスチェンジシステム』を取り扱っている販売店がございます。

修理納期の短縮等、お客様にとって魅力あるサービスシステムとなっておりますので、販売店へご確認ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.co.jp

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：0120 -112 -140
(9：00～12：00・13：00～17：30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2006/1　PA-2795A　280-8306-00